

Plus⁺

Vol.1

安江一勢税理士事務所

Management information

10
2021



オンライン化をどう捉えるか？



急速に発達したオンライン化

新型コロナウイルスの影響により、世の中で大きく進んだもの。

それが「オンライン化」です。

テレワークやビデオ会議システムの使用が当たり前になり、オンラインセミナーやオンラインライブも珍しいものでは無くなりました。

Uber Eatsをはじめとする宅配サービスも一気に普及しました。

では、オンライン化はコロナが起こったからこそ、行われたのでしょうか？

これは、違います。

元々、テクノロジーの進化により、オンライン化を行うことは可能でした。

実際、私もコロナが発生する前に、ZOOMをダウンロードしており、オンライン上でのセミナーなども行っていました。

ただ、社会全体として、オンライン化をする必要性がまだ無かったため、オフラインでのビジネスが行われていたのです。

しかし、この必要性が、コロナの発生により、急激に上がりました。

本来であれば、10年かけて行われるべきことが、半強制的に1年で、オンライン化を進めることとなったのでした。

距離の壁が無くなると、誰にでもサービスが届く

そのため、オンライン化の流れは、これからはさらに進んでいくことでしょう。

オンライン化が進むと、地域の壁が無くなります。

「近いから」「遠いから」という理由での価値が次第に無くなっていきます。

これまでは、「近いから」あの人に依頼しよう、「遠いから」あの人と仕事はできないということがありました。

それが、これからは、**オンライン化を活用して、どんな人に対しても、サービスを届けることができます。**

ニーズを捉えた“尖ったコンテンツ”が必要

だからこそ、重要となってくるのが、**尖ったコンテンツ**です。

“この人だから”“この会社だから”という尖ったコンテンツを作らなければ、同じようなサービスをしている人たちに仕事を取られてしまいます。

ただ、逆に捉えると、お客様のニーズを捉える尖ったコンテンツがあれば、あなたがどこにいても、お客様がどこにいても、あなたの商品やサービスを届けることが可能となっていきます。

これは、チャンスでもありますよね。

これから、オンライン化によって、さらに社会は急激に変わっていくことでしょう。

アフターコロナの世界では、オンライン化が生活の当たり前になっているかもしれません。

「**オンライン化をどう捉えるか**」が、今後のビジネス発展のカギを握っていくことでしょう。

ぜひ、今のうちから、対策を取っていただくくださいね。



やることがたくさんあることは幸せなこと

(大谷翔平 メジャーリーガー)



野球の最高峰の舞台であるメジャーリーグで、投手としても打者としても大活躍をしている**大谷翔平選手**。

その活躍はメジャーリーガーたちにも認められ、その年の最も良い選手が選ばれる「シーズンMVP」を獲得するのではないかとされています。

凄いですよね。屈強な外国人と戦い、日本人が選ばれるなんて。尊敬します。

このように、今でこそ、大成功をしている大谷選手ですが、**初めからうまくいったわけではありませんでした**。

メジャーリーグに挑戦した頃、レベルの高さになかなか結果が出ず、非常に悩んでいたようでした。

そんな悩んでいた時期に出た言葉が、この言葉でした。

**“やることが
たくさんあることは幸せなこと”**

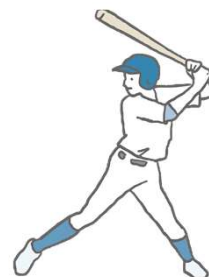
この言葉の中の「やること」とは、「課題」や「改善点」のことを言っています。

一見落ち込んでしまいがちな課題や改善点などの悩みを、前向きに捉え、それらは幸せなことだと捉えています。

こんな風に捉えられているからこそ、信じられないほどのスピードで成長を重ね、数々の課題や改善点を乗り越えることで、今のような結果を出しているのでしょう。

私も、大谷選手を見習い、**課題や改善点があることは「幸せなこと」だと捉え、これからも頑張っていきたい**と思います。

プロフェッショナルな超一流の方のマインドはさすがですね。



一生に一度の結婚式を



先日、結婚式を挙げるために、その準備として、**ウェディングフェア**へと行ってきました。

計3つの式場を見に行ったのですが、それぞれにそれぞれの良さがあり、行くだけでも大変楽しめました。

ただ、めちゃくちゃ疲れました(笑)

結局、一番目に見た会場が、総合的に気に入ったため、その会場に決めました。

ここは、妻との思い出の場所でもあり、プロポーズをした場所でもあるので、今のうちから準備がとても楽しみです。

式の日取りは、私がこれから、確定申告や決算などの業務で、忙しくなる時期でもあるため、ゆっくりとした準備を行うためにも、**来年の11月**に決めました。

一生に一度だからこそ、私たち家族にとっても、ゲストの方たちにとっても、**思い出に残る式**にしたいと思います。

それにしても、ウェディングの料金システムには驚きました。

高い見積もりに、大幅値引き。さらにオプションでの上乗せ料金。

契約書には、値引き交渉の禁止など…。**“一度きり”**というビジネススタイルだからこそ、できることでもありますよね。

良い、悪いは置いて、大変勉強にもなりました(笑)





余談ですが…

初めてのニュースレターはいかがでしたでしょうか？

せっかく、いろんなビジネスをやっているのだから、そこから学んだことを、クライアントの方々にもシェアをさせて頂きたいなと思い、はじめました。

ビジネスの話だけでなく、プライベートな内容も盛り沢山の、お届けしていきます。

最近は、紙の本を作るべく、猛勉強をしています。

本の世界は奥深く、知れば知るほど、面白いなと思い、知識を深めています。

衰退していると言われている出版業界ですが、どれだけオンライン化したとしても、書籍が無くなることはないと思っています。

当然、電子書籍も素晴らしいですが、やはり、紙だからこそその価値もあり、それぞれにそれぞれの良さがあるなと感じています。

そのため、これからも紙と電子のそれぞれの価値を追い求めながら、良い本を作っていきます。

いつかは書店とかもやりたいなあと思っています。

街の小さな本屋さん。楽しそうで、面白そうですね。

なお、出版業と税理士業は、言葉と数字という面でも、真逆のようなイメージがあるかもしれません。



今月のお知らせ

早いもので2021年も終わりに近づいています。

そのため、個人事業主の方は、そろそろ**確定申告の準備**を始めていきましょう。

コロナ禍ならではの注意点としては、飲食店の協力金や一時支援金、月次支援金などについては、**税金がかかってきます。**

そのため、思わぬ税金を納税しなくても良いように、決算対策や節税は早めに行っておきましょう。

しかし、実は仕事としての本質は同じで、**コラボとしての相性もなかなか良いなと感じています。**

出版業は、本を通じて、著者の方の価値やノウハウを輝かせ、読者や社会に届けていくというもの。

一方、税理士業は、クライアントの方の価値やビジネスと向き合い、それらをサポートすることで、さらに発展をさせていくというもの。

どちらも価値を輝かせ、サポートをしていくという立場が同じだなと感じています。

出版業は、世の中の流行を作っていく仕事であり、税理士業は、世の中の時代を作っていく仕事でもあるので、その2つの事業を同時に行うことで、新たな価値を渡せていけるのではないかと考えています。

これからも、枠にとらわれることなく、多くの価値を届けていきます。

来月も **Plus+** を
お楽しみに！



そこで、**個人事業主の節税として、最もオススメな制度は「小規模企業共済」**です。

ほぼリスクゼロで、節税をしながら、将来の積立でもできてしまうという素晴らしい制度です。

詳しくは、監査の際に私の方にお尋ねください！

完全無料で、手続きをサポートさせていただきます！

執筆：安江一勢

作成：LUCE出版編集部